

第三次5ヶ年計画

*** 平成27(2015)年度 ～ 令和1(2019)年度 ***

区 分	施策項目
I 教育の質保証	①キリスト教理念を基盤とした全人的教育方針の共有化 ②学位保証の考え方に基づくカリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの明確化ならびにFD（ファカルティ・ディベロップメント）の実質化 ③教員組織の再構築と教育の質を担保する研究活動の活性化
II 学生支援策の充実	①ファースト・ブライオリティーとしての個々の学生に焦点を当てた自立支援、修学環境の整備・充実 ②キャリア教育の視座からの継続的サポート体制、更には母校愛を育むエンロールメント・マネジメントの確立 ③高等教育のユニバーサル化を背景とした学生の多様化に対する重層的支援策の構築
III 入試改革の推進	①学齢人口減少期における戦略的學生募集計画の立案 ②アドミッション・ポリシーの更なる明確化、ならびに点検・評価を行い、その方針に基づく入試制度改革の推進 ③量的な志願者数を維持しながら、進学適性等の質的課題を担保する入試制度の検討 ④カトリック学校として特色ある高大接続・連携のあり方の検討
IV 社会連携	①地域に根差し、世界に開かれた大学として、理念を共にする関係機関との、より緊密な連携体制の構築 ②大学の持つ様々な資源を社会に還元することによる社会参加の推進、地域貢献への寄与 ③高大連携の観点から、例えば、対象別、段階別の連携プログラムの開発等、学習効果の向上策や、学生・大学間のミスマッチを防ぐ取組み ④広報体制の強化・再構築を図り情報発信力の向上
V 経営基盤・組織の強化	①経営環境の変化に対応する、迅速かつ的確な対応のための大学ガバナンス機能の充実 ②PDCAサイクルの構築と、チェック機構としての理事会・評議員会の位置付けの明確化 ③安定的財政基盤の維持、充実のための、単年度収支における厳格な予算管理ならびに長期的・戦略的ファイナンシャル・マネジメント ④キャンパス環境の更なる整備・充実（隣接・聖マリア病院敷地の再開発工事の進捗に関連した構内整備計画 ⑤聖マリア病院を中心としたグループ法人間連携の堅持

第四次5ヶ年計画

*** 令和2(2020)年度 ～ 令和6(2024)年度 ***

区 分	施策項目
I 教育の質向上	①教学マネジメント体制及び組織的教育展開の強化による学修者本位の教育への転換 ②本学の特徴と社会動向を踏まえた教育課程の再編成 ③学生個々人の可能性を最大限に伸長する教育への転換と予測不可能な時代で新たな価値を創出できる人材の育成 ④設立理念を共にする聖マリア病院を中心とした実習施設との協働による臨床教育の充実 ⑤教育目標・将来構想実現に資する教員組織の再構築と適切な人事制度・支援体制による教育研究活動の活性化 ⑥教育の質に関する内部質保証の機能性・有効性の向上（学外者からの意見の積極的活用）
II 学生支援策の充実	①ひとりひとりの学生の個性と多様性に寄り添う支援 ②学生の理解度に応じた学修支援と主体的学修姿勢の醸成 ③学生の適正や能力、可能性を活かし、よりよいキャリア選択を可能とする支援の充実 ④真に支援を必要とする学生への適切な支援 ⑤学生生活・学修環境の整備・充実
III 入試改革と戦略的學生募集・広報活動の推進	①戦略的學生募集活動の立案による安定的受験者数の確保 ②本学アドミッション・ポリシーに合致した学生の安定確保を目指した入試制度の改革
IV 社会連携（地域貢献、国際交流）	①学長方針下、本学的主要事業の一環である"地域ファースト"、"国際交流"の大学内への浸透と全学的関わりを前提とした事業化を図る ②社会貢献、国際交流事業に関する、各連携・提携先との関係性の堅持、強化 ③大学の資源（人材、知財、施設・設備）を広く還元し、多様な社会ニーズへの柔軟な対応に資する ④情報発信力の強化による認知度、関心度の向上 ⑤久留米市内高等教育機関との連携により、地域における総合的な知の拠点づくりを進め、「知」を地域社会に還元するとともに、自治体、産業界と協働し、地域の教育、文化及び産業の発展に貢献する。
V 経営基盤・組織の強化	①建学の精神の具現化に係る原点回帰と理念継承 ②経営環境の変化に対応するガバナンス機能の強化 ③大学運営の根幹となる健全な財政基盤の確立 ④包括的キャンパス整備による魅力ある大学づくり ⑤聖マリア病院を中心としたグループ法人間連携の堅持

第五次5ヶ年計画

令和7(2025)年度 ～ 令和11(2029)年度

～ 建学の精神 ～ 「カトリックの愛の精神」 を全ての根幹として	
I	「教育／研究」 教育研究の質向上
II	「学 生」 学生支援策の充実
III	「入試／学生募集」 安定的定員確保に向けた入試改革と戦略的広報活動
IV	「社会連携」 「カトリックの愛の精神」に基づく地域貢献・国際交流
V	「経営／組織」 経営基盤の安定化と組織強化

「第五次」中長期計画

【テーマ】 理念の具現化・継承を第一の目的として

- 継続性の観点により、従前の「Ⅰ ～ Ⅴ」の区分を維持、各区分とも「建学の精神」をその根幹に。
- テーマに沿い、理念の具現化や継承を第一義とした事業構想、行動計画の立案。四年制大学開学（2006年）より20年（2026年）の変革期をどう迎えるか。
- 『10年後の在るべき姿／Vision2030』（現行第四次計画立案時に「第5次」策定時の指標化、基準項目とすることとしたもの）の再確認、再認識。
“カトリック大学”として・・・ 社会に開かれているか〔信頼性、公開性、貢献度〕
未来に開かれているか〔計画性、継続性、経営力〕
学生・教職員は拓かれているか〔教育の質、development〕

第五次5カ年計画 重点項目

<重点項目>

区分名称	中長期計画・目標		中長期行動計画	
Ⅰ 教育／研究	①	本学の理念・特色を踏まえた教育並びに学修者本位の教育の推進	①- i	カトリックの理念に基づく生命倫理の教育へのさらなる反映およびその質の向上
	②	学修成果を基軸に据えた教育に関する内部質保証の実質化	②- ii	教育課程との相乗効果による国家試験合格率の向上
Ⅱ 学生	①	心身ともに健康で安定した学生生活を送るための学生支援体制の構築	①- i	休・退学防止のための学内相談体制と学内支援組織の再構築
	②	主体的学修姿勢の醸成と個別性に応じた学修支援	②- ii	組織的学修支援体制の構築による国家試験合格率の向上
Ⅲ 入試／学生募集	①	「建学の精神」を勘案したブランディングの確立		
Ⅳ 社会連携	②	大学のあらゆる資源を活用し、グローバルな社会貢献を目指す		
Ⅴ 経営／組織	①	大学諸活動の継続的推進を可能とする財政基盤の安定化	①- i	予算精度化と厳正な執行管理による収入規模に応じた経費抑制
			①- ii	収入強化・多角化に向けた資金運用方策の検討
	②	学齢人口減少下に対応した学内体制の再編	②- iii	社会情勢等を勘案した入学定員変更の検討

第五次5ヶ年計画<案>

令和7(2025)年度 ～ 令和11(2029)年度

【テーマ】 理念の具現化・継承を第一の目的として

区分名称 「Ⅰ 教育／研究」

教育研究の質向上

中長期計画・目標

① 本学の理念・特色を踏まえた教育並びに学修者本位の教育の推進

② 学修成果を基軸に据えた教育に関する内部質保証の実質化

③ 本学の理念に基づく高い倫理観を具えた質の高い研究の推進

中長期行動計画（上記施策項目を具現化する方策）

①- i カトリックの理念に基づく生命倫理の教育へのさらなる反映およびその質の向上

①- ii 学生が自らのディプロマ・ポリシー達成に向けた学修成果を自覚し、エビデンスと共に説明できる教育の実施

①- iii 学生の多様化に応じた個々の学生の可能性を最大限に伸長する教育の継続・推進

①- iv 理念を共にする聖マリア病院との協働による教育の継続と推進

①- v 学修成果・教育成果を最大化するために必要な教員の能力向上に資するFDの効果的实施

①- vi 本学の特色を踏まえた大学院教育の在り方に関する検討の継続

①- vii 学生の視点に立った学修環境の整備

②- i アセスメントポリシー（アセスメント・プラン）に基づくカリキュラム並びに教育方法の検証と改善

②- ii 教育課程との相乗効果による国家試験合格率の向上

②- iii 教育活動の改善に資する教学IR機能の充実

③- i 研究不正防止に向けた取り組みを実施し、研究倫理規範意識の向上を図る

③- ii 外部研究資金獲得を推進し、社会課題解決に資する研究を展開する

③- iii 研究発信力の強化

第五次5ヶ年計画＜案＞

***** 令和7(2025)年度 ～ 令和11(2029)年度 *****

【テーマ】 理念の具現化・継承を第一の目的として

区分名称「Ⅱ 学生」

学生支援策の充実

中長期計画・目標

- ①心身ともに健康で安定した学生生活を送るための学生支援体制の構築
- ②主体的学修姿勢の醸成と個性に応じた学修支援
- ③自身の能力や個性を他者のために活かすためのキャリア支援
- ④多様性を受け入れ、ひとりひとりのニーズに合わせた個別支援

中長期行動計画(上記施策項目を具現化する方策)

- ①- i 休・退学防止のための学内相談体制と学内支援組織の再構築
- ①- ii 日常的な支援による早期対応システムの構築
- ①- iii 保護者との情報共有による連携強化
- ①- iv 奨学金制度見直し等の経済支援策の検討
- ②- i 入学前教育の充実により、大学教育への円滑な接続を図り、学力格差の是正を図る
- ②- ii 組織的学修支援体制の構築による国家試験合格率の向上
- ②- iii 学生の学修意欲を引き出し、孤立をなくすための学びのコミュニティづくりを進める
- ②- iv 学生の理解度や習熟度に応じた個別学修支援
- ②- V 障がいのある学生への学修支援と合理的配慮の実施
- ③- i 学校行事やボランティア活動、課外活動を通し、いのちに奉仕する看護職者としての成熟を促す
- ③- ii 看護を取り巻く状況の変化を柔軟に受け止め、多様な働き方を選択するための支援
- ③- iii 地域社会の健康に寄与できる愛の実践者を目指し、聖マリア病院との協働によるキャリア支援
- ③- iv 生涯学びを続ける看護職者として、大学院進学も視野に入れキャリア支援
- ④- i 学生の個性、背景、心身の状態に合わせた、個性や能力を活かす支援
- ④- ii 対話を通じた特性やニーズの理解と個に応じた効果的な支援
- ④- iii 障がいのある学生の修学機会の保障と合理的配慮
- ④- iv 学生の自己理解を促し、体験からの成長を目指す
- ④- V 障がいのある学生が多様な働き方を主体的に選択するためのキャリア支援

第五次5ヶ年計画＜案＞

***** 令和7(2025)年度 ～ 令和11(2029)年度 *****

【テーマ】 理念の具現化・継承を第一の目的として

区分名称「Ⅲ 入試／学生募集」

安定的定員確保に向けた入試改革と戦略的広報活動

中長期計画・目標

- ①「建学の精神」を勘案したブランディングの確立
- ②重点的ターゲットとなる地域、学力層への戦略的アプローチと広報施策
- ③奨学金制度等、修学支援制度面からの受験者確保方策の検討と実施
- ④本学アドミッション・ポリシーに合致した学生の安定確保を目指した入試制度の改革とその検証

中長期行動計画（上記施策項目を具現化する方策）

- ①- i 「建学の精神」を勘案した本学の強み・弱みの再認識に基づくブランディング確立のための検討・検証
- ①- ii ブランディングイメージの教職員共有のための内部広報強化
- ①- iii ブランディングイメージの効果的な对外発信（周知浸透）
- ②- i 地元重点校を対象とした高校訪問、校内ガイダンス等の実施による関係強化ならびに低学年早期接触を意識した広報施策の推進
- ②- ii デジタル媒体、SNS等のメディアを通じた広報の積極的实施とHPへの導線強化
- ②- iii 聖マリア病院との連携強化や学生広報スタッフ育成による魅力的なオープンキャンパスの実施
- ③- i 入学前納入金の分割納入制度導入の検討
- ③- ii 現行奨学金制度の検証・見直しに基づく奨学金制度の改善
- ③- iii 地元進学促進のための地元出身者への奨学金新設の検討
- ④- i アドミッション・ポリシーに基づいた総合型選抜の充実（選抜・評価方法の検証・改善）
- ④- ii 現行制度の検証に基づく、入試制度（区分・募集人員・選抜方法）やアドミッション・ポリシーの改善
- ④- iii 系属校・協定校対象入試の充実と優遇措置の検討・実施

第五次5ヶ年計画＜案＞

***** 令和7(2025)年度 ～ 令和11(2029)年度 *****

【テーマ】 理念の具現化・継承を第一の目的として

区分名称「Ⅳ 社会連携」
「カトリックの愛の精神」に基づく地域貢献・国際交流

中長期計画・目標
①地域貢献および国際交流を推進するための目標管理と関係機関との連携強化
②大学のあらゆる資源を活用し、グローバルな社会貢献を目指す
③本学の特色を生かした地域貢献活動を進展させ、広く地域社会の健康に寄与する
④広報を通じて本学の理念に基づいた地域貢献・国際交流活動の認知・理解を促進する

中長期行動計画(上記施策項目を具現化する方策)
①- i 年間事業計画の定期的な進捗管理および活動の評価を行う
①- ii 聖マリアグループ・自治体・産業界等と連携し活動する
①- iii 久留市内高等教育機関と連携し活動する
②- i 社会に対する多様な学修プログラム・生涯学修機会を提供する【リカレント教育(履修証明プログラム)・公開講座他】
②- ii 社会からの要請に基づき人材の派遣・受入を行う
②- iii 大学施設・設備を開放し、地域貢献・国際交流を推進する
③- i 拠点型(ほっとステーションマリア)・派遣型(ナーススペースドクリニック活動)での地域住民健康支援を実施する
③- ii 地域の看護職者向けに研修プログラムを提供する
③- iii 地球環境保全および防災・災害支援に取り組む
④- i ホームページの見せ方、記載内容の見直し・改善に取り組み、本学の理念・活動の理解促進に努める
④- ii SNS等のメディアを利用し、本学の地域貢献・国際交流活動について定期的に投稿を行う
④- iii 本学の地域貢献・国際交流活動について、報道機関にプレスリリースを行う

第五次5ヶ年計画＜案＞

令和7(2025)年度 ～ 令和11(2029)年度

【テーマ】理念の具現化・継承を第一の目的として

区分名称「Ⅴ 経営／組織」

経営基盤の安定化と組織強化

中長期計画・目標

- ①大学諸活動の継続的推進を可能とする財政基盤の安定化
- ②学齢人口減少下に対応した学内体制の再編
- ③建学の精神と理念継承のための人材育成

中長期行動計画(上記施策項目を具現化する方策)

- ①- i 予算精度化と厳正な執行管理による収入規模に応じた経費抑制
- ①- ii 収入強化・多角化に向けた資金運用方策の検討
- ①- iii 財政基盤の安定化に向けた財務計画の策定
- ②- i 大学の目的達成と大学運営を両立させる適正な教職員配置の検証と実施
- ②- ii 学内体制の再構築による大学運営の効率化
- ②- iii 社会情勢等を勘案した入学定員変更の検討
- ③- i 長期的視点に立った教職員の育成
- ③- ii 働きやすさと教職員の成長を促す職場環境を整備